

シーズ分野;臨床医学 臨床検査医学

研究シーズ;癌細胞に特異的殺細胞効果をもたらす新規標的分子

— 癌細胞の代謝物および転写物の比較解析 —



滋賀医科大学 臨床検査医学講座

准教授 茶野 徳宏

「新たな作用を有する抗癌剤の可能性」

■ 関連文献・特許
・ 特開2017-9381

■ 研究概要

癌治療の成績を改善するためには、既存の抗癌剤治療の枠を越えて、癌細胞にはより特異的、効果的な増殖阻害、殺細胞効果をもたらし、且つ、正常細胞には副作用の乏しい、新たな治療標的分子を同定し、がん治療を革新することが必須である。

このような観点から、これまで、癌細胞と正常細胞の代謝物や転写物を比較分析し、癌細胞に特異的発現を示す分子について解析してきた。その結果、未知の有望な分子を幾つか発見でき、この分子に作用する物質を用いた新たな抗癌剤の開発を目指している。

■ 応用展開・共同研究テーマ例

- ・ 新規分子標的に対するライブラリーの提供とHTSの実施
- ・ 上記で得られたリード化合物の開発(安全性、有効性、治験)

■ 研究者からのお願い(ニーズ)

- ・ 上記テーマを共同で実施してくれ製薬企業・パートナーを探している。

図1. 統計解析により癌治療標的分子を抽出

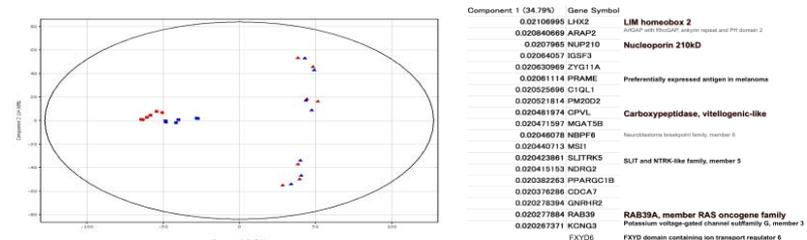
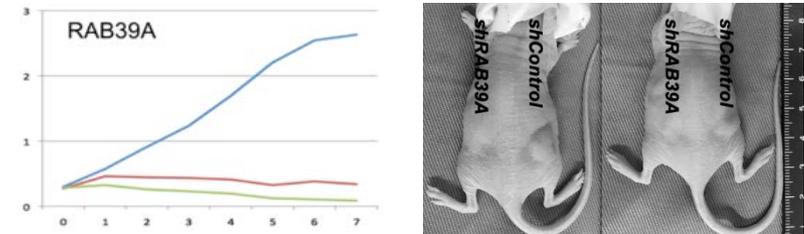


図2. shRNAを用いた分子標的治療モデルscreening



お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp